

2022 年度(令和 4 年度)事業報告

1. 活動の成果

2022 年度地域福祉会あぁすでは、定年退職と予定外の常勤 2 名の退職に加えて、複数職員の病気療養や介護休暇等で、人員体制が非常に不安定になりました。その為事業所を超えての応援体制やサービス調整等これまでにない経験をした年になりました。しかし、このような状況の中でも、職員が一丸となって奮闘し利用者に大きな影響を出さずにサービスが提供でき、経営的にも踏ん張ることが出来ました。



新型コロナウイルス感染は、終息を見ないまま 3 年が経過しました。この間、各事業所では、病原体を「持ち込まない」「持ち出さない」「広げない」を合言葉に積極的に感染予防に努め、研修会・学習会や事例検討会等を無事開催することが出来ました。

介護従事者の人手不足は、あぁすだけでなく、全国でも起こっており 厚生労働省の試算によると、2040 年に必要な介護人材は 280 万人で約 69 万人増やす必要があると言われています。このままでは、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」「認認介護」や、介護を受けられない「介護難民」や「虐待」、「介護放棄」などの問題が大きくなるのは必至です。

世界では、ウクライナへのロシア軍事侵攻は、今なお収束のめどさえたっておらず、命と平和を守る意義と行動が私たちに今求められる状況に変わりはありません

国内では、2024 年の医療介護の同時改定が意味するものや、全世代型社会保障改革を学び、その行き着くところを見極めていくことが最も必要なこととなります。

今年度も地域福祉会あぁすは、引き続き新型コロナウイルス感染対策を徹底しつつ、働きやすい職場づくりと健康管理に努め、知恵と力を出しあい協力して活動し、職員確保にも全力で頑張ります。

2. 特定非営利活動法人に係る事業

I. 地域福祉会あぁすの事業活動

コロナ禍の状況で担い手不足の厳しい現状のまま乗り切った 1 年でした。

人材確保は、採用面談は 10 件ほどありましたが中々採用までは至らない状況でした。残された職員で新型コロナウイルス感染症対策と人手不足に負けず、医療・看護とも連携を図り、地域に信頼される事業所として活動しました。

1) 訪問介護事業

特定事業所加算を取得している事業所として責任をもってサービス提供に努めました。

(1) 【訪問介護 7 つの重点について】

- ① ～④軽度者の重症化予防や認知症・独居高齢者の困難事例に積極的に取り組みました。訪問看護と共に人工呼吸器やストマ造設の利用者のサービス提供し、協働と連携を深めました。

- ⑤ 中央区は拠点を移し、訪問エリアを集約し、新規獲得と現状のサービスの見直しをしながら赤字幅を縮めるように努めました。
- ⑥ 感染予防対策は、週2回神戸市の抗原キット定期検査を行い、また、感染予防の基本を徹底してきました。クラスターにならず最小限に抑えることができました。
- ⑦ 人材確保は、採用面談は行いましたが、在職中の職場から退職できなかつたり、他事業所（施設）選択されたりと中々厳しい採用状況でした。

訪問介護7つの重点（第27回方針22年事業計画）

- ① 軽度者の重度化を防止し自立支援の支援を行います
- ② 認知症、独居高齢者の困難事例に取り組みます。
- ③ 医療、看護と連携し「質」の高いサービスを提供します。
- ④ 医療の知識を深め、看護と連携し在宅の看取りを積極的に行っていきます。
- ⑤ 中央区は拠点を移し、訪問エリアを集約して、多職種協働の活動をしていきます。
- ⑥ 感染予防対策を周知徹底し利用者、職員の健康を守るよう努めます。
- ⑦ 人材確保は継続していきます。（特に非常勤職員確保）

（2）介護予防訪問サービス・生活支援訪問サービス

軽度者、認知症の方の孤立や重度化を防ぎ自立支援の観点から利用者が自立できるように、本人の潜在能力を活かした支援を行い高齢者が社会参加や社会的役割をもち生きがいある生活ができるように支援しました。また、今年度は、介護予防訪問介護で、身体介護が増えました。今後、職員の身体介護に対する処遇も検討課題となりました。

（3）障がい者訪問介護

人工呼吸器やストマ交換などで訪問看護と連携しながらサービスの提供を行いました。ALSや難病の医療依存度の高い方など医療・看護と連携を深め協働してサービス提供を行いました。利用者によっては、介護保険と障害福祉制度を併用し、制度をうまく活用できるようにしてきました。

2) 居宅介護支援

今年度は、大規模居宅介護支援事業所とし、ケアマネジャー8人の集団力を発揮して業務に取り組むことが出来ました。認知症の方や困難事例等に対するきめ細かで質の高いサービス提供が出来る居宅事業所として業務に携わり、実力を生かした一年になりました。

利用者は、住吉・御影エリアの地域包括支援センターから途切れることなく依頼がありました。また、灘地域からの紹介依頼も継続してあり、日頃からの顔の見える関係づくりと信頼関係によるところが大きくありました。

年間目標件数を介護205件、予防60件と目標設定し、介護は最高時211件、予防は63件と予算を上回っています。

特定事業所加算Ⅱの算定要件で、毎週水曜日に全員のカンファレンスを実施し情報共有を継続し、朝礼時の意見交換も定例化し、スタッフ間での意思疎通を図る事が出来ました。研修会への参加もリモート参加と共に外部研修も再開されてきました。

また、リモート研修参加に向けて誰もが操作できる技術の習得や環境整備（パソコン）の必要性を実感しました。

新型コロナ感染予防対策として、職員を2階地域支援室内へ分散し、職場環境を整えました。毎日の検温記録、備品の整備、確保と共に、神戸市からの抗原検査キットを週2回（火・金）実施出来た事で各自が、安心して訪問できる根拠となり不安が減りました。新型コロナ感染対策について、利用者様の状況把握、連絡相談も行ってきました。

3) 本部事務局

本部事務局は、法人事業全体が縮小する中で、前年度2名の減の中、0.7名の増員のみで今年度も業務を行って来ました。業務の量は減っても種類は減らず、特に給与支給において、点検不足などからご迷惑をおかけする事態が多数発生しました。

利用料回収では、事務局の実務が増えたものの、介護員の負担軽減へコンビニ決済やスマホ決済も導入し未収金も減らすことができました。

備蓄管理でも、感染症に対応し必要な備品がスムーズに確保できるようすすめることができました。

夏にほぼ同時期に2名の常勤が感染症により自宅待機となり、在宅ワークをする中で危機を脱しました。保険請求以外の業務が一人担当制となっており課題を残しました。事務局内のコミュニケーションの必要性を改めて知らされる一年でした。

4) 地域支援事業

法人内で、地域支援プロジェクト会議を立ち上げ3年が経過しました。今年度は、昨年度の企画を継承しつつ、子ども食堂を追加し、地域住民、近隣事業所、生活困窮者や単身世帯の支援を中心に、子供から高齢者まで、誰でも参加できる企画で、地域に介護事業所だけでなく「ああすの顔」をつくる事が出来ました。

(1) 地域連携・協働・まちづくり

地域支援事業を本格的始動し、以下の点に取り組みました。

① 地域貢献事業

「街のよろず相談」は、開催していることが見た目でも伝わるように「街かどカフェ」として焙煎珈琲を提供しながら、必要な方があれば相談につなげる形で継続開催しました。



季節行事は、さくらボックス・夏祭り・ハロウィン・クリスマスと鏡開きの年間5回開催し、延べ360名を超える参加があり、子ども食堂は3回開催し、延べ88名の参加がありました。また、物品提供も4者（社）協議会や、近隣住民・社会福祉協議会・関係企業などからの協力もありました。また、回を重ねるごとに参加者が増える傾向になってきました。

広報活動としては、協力団体へのチラシ配布や近隣地域へのチラシの配布や掲示板の活用、LINE公式の活用、ホームページ掲載など行いました。

下半期では積極的な広報活動がなくても参加者があり定着してきた事を感じる事が出来ました。

② 地域連携事業

多目的ルームの利用は、コロナ感染拡大はありましたが、感染予防対策を重視して利用を継続しました。22年度は、9団体 延べ 175回、2,340名と多くの方の利用がありました。

あぁすが代表を担う「住良本町ネットワーク」は、神戸市の「つどいの場支援事業」として毎週金曜日に「ふらっと住良本町」を開催。11月はフレイル月間として、クイズラリーや認知症講演会、栄養の話し、口腔ケアを地域の皆さんに学んでいただきました。あぁすとしてもこのネットワークに参加し、場所の提供と併せて地域連携事業として定着してきました。

NPO 法人全国夜間中学ネット（エデュケア）に協力し、週3回2時間程度、多目的ルームと会議室を提供し、引きこもり支援や無料学習塾の部屋の提供を支援してきました。参加者延べ 65回、880名ありました。（全員高校合格することが出来ました。）

③ 任意後見事業

任意後見事業は現状維持で取り組みました。

(2) 人材支援活動（ボランティア活動）

多目的ルームのディスプレイはあぁすこうなん職員が中心となって、毎月更新され、季節を感じる事が出来ました。

ボランティア募集からの応募が1名あり、行事への参加がありました。

ボランティア育成までには至りませんでした。

5) 法人感染・災害対策

法人感染・災害対策委員会を第4火曜日に定例化し、特に新型コロナウイルス感染対策では、指揮命令系統を整理し現場に即し臨機応変に対応してきました。

感染・災害対策対応備蓄（2か月分）では、本部事務局を中心に様々な物品管理を早期より進め安心して活動が出来ました。

感染状況に応じて、職員・利用者向けに複数回チラシを配布し、啓発に努めました。新型コロナウイルス感染対策・災害対策に向けてのBCP（事業継続計画）作成を開始できました。

6) 広報活動

機関誌「あぁす TIMES」は、長く続くコロナ禍も変わらず、多くの方からの寄稿協力（依頼）を頂きました。学習報告、行事参加報告や、また、ノーマターでそれぞれの想い、考え、情報を発信されることで交流を深め、バラエティに富んだ「わたし」の誌面となり、元気な広報活動ができました。

振り返りとしては、余裕を持って発行をすることができなかったことが反省点でした。

あぁすのホームページは、職員研修企画などの案内をはじめ、職員のページを使った研修内容の公開など活用されました。

まちづくりのページでは地域支援事業の案内を行っており、結果の報告や交流ができるよう準備を進めています。

LINE 公式は、地域支援事業企画の発信を登録者に向けて行い、現在登録者が 35 人ほどで地域に認知されるほどには至っていません。チャット機能の活用など今後の課題です。

II. 事業を支える体制と人づくり

1) 人材確保

今年度は常勤・非常勤とも採用ゼロとなる深刻な状況が生まれました。

ハローワークや福祉人材センターでの登録をしていますが問い合わせはありませんでした。紹介業者は、これまでの実績のあるカイゴワーカーとトライトキャリア、ジョブメドレーを中心に利用しました。しかし、今年度は紹介そのものも減少し、オファーを返しても面接に至らないケース、面接予定しても面接をキャンセルされるケース、面接し採用の方向で進む中で断られるケース、中には、採用決定し、就業の 3 日前にキャンセルになるケースもありました。面接前後にキャンセルされる方の多くは就業中の事業所から「退職ができない」「引き止められた」などで、各事業所での人材不足が反映された影響を受けた結果となりました。

2) 人材育成

今年度は、全体学習会は、「あす事例発表会」「権利擁護・虐待防止」「法令遵守 part 2」「認知症」4 回開催しました。コロナ禍中でありましたが工夫しての研修会の開催となりました。

今年度は、職場づくりについて、向き合う時間を取り各事業所で改善に向けて話し合い自分たちの職場が働きやすくなるように努めました。

III. 安定した事業経営

1) 訪問介護事業

今年度は、定年退職者や予定外の職員の退職者も重なり、補充も人員確保もできない状況のまま、少ない人員の中で稼働を維持し、結果として黒字を残すことができました。

こうなんは、下半期には相次いで重度利用者の入院・逝去による稼働減となりました。

あすは、ふきあい移転により旧生田地域の総合事業の利用者減のなかで、葺合地域での新規獲得も進まず、経営改善は思うようにいきませんでした。また、職員の退職と、1 月以降は介護休暇の職員もあり厳しい状況が継続しました。

2) 居宅介護支援事業

今年度は、一人一人の担当数にこだわり、安定的に黒字を確保することができました。

3) 地域支援事業・その他

この間の地域支援事業はカンパなども募って開催しました。ほぼカンパで運営できようになっていますが、安定的な収入になりませんでした。(事業所の持ち出し部分も多くあった。) 寄付金口座の開設をしているが、賛助会費等の検討はできませんでした。職員中心型からボランティア中心型に移行まではできませんでした。

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

① 通常総会 令和4年5月23日(月) 18:30~19:40

開催場所 東灘区文化センター8階 1号室

出席者数 81名(表決出席者は61名 出席会員への委任2名)

議事内容

- 審議事項
- 第1号議案 令和3年度事業報告に関する事項
 - 第2号議案 令和4年度事業計画案に関する事項
 - 第3号議案 令和3年度活動決算に関する事項
 - 第4号議案 令和3年度監査報告に関する事項
 - 第5号議案 令和4年度活動予算案に関する事項

② 理事会

第1回理事会 令和4年6月22日(水) 18:00~19:10

- ・5月業務報告を承認
- ・夏季賞与について承認
- ・総会の結果について意見交換

第2回理事会 令和4年7月27日(水) 18:00~19:20

- ・6月度業務報告を承認
- ・四半期を終えて意見交換

第3回理事会 令和4年8月24日(水) 18:00~19:20

- ・7月業務報告を承認
- ・ベースアップ加算手当支給について承認
- ・賃金見直しについて討議状況を報告

第4回理事会 令和4年9月28日(水) 18:00~19:50

- ・8月業務報告を承認
- ・賃金見直しについて承認

第5回理事会 令和4年10月26日(水) 18:00~19:10

- ・9月度業務報告
- ・上半期経営検討について意見交換

第6回理事会 令和4年11月30日(水) 18:00~19:30

- ・10月度業務報
- ・冬期賞与の支給について承認
- ・第28期通常総会開催を日程およびスケジュールを承認
- ・期末決算・事業報告、予算・事業計画作成スケジュールについて承認
- ・期末手当支給について承認

第7回理事会 令和4年12月21日(水) 18:00~19:50

- ・11月事業報告を承認
- ・決算・事業報告、予算・事業計画作成スケジュールについて
- ・決算、予算の考え方について報告、意見交換

- 第8回理事会 令和5年1月25日(水) 18:00~19:10
- ・12月事業報告の承認
 - ・令和4年度の事業報告および決算作業の進捗に関して報告
 - ・令和5年度に賃金の改定について
 - ・パソコン関連に関しセキュリティ強化について決裁
- 第9回理事会 令和5年2月22日(水) 18:00~19:30
- ・1月事業報告の承認
 - ・賃金規定の改訂にかんする作業の進捗に関して
 - ・事業報告および決算の進捗に関して
- 第10回理事会 令和5年3月22日(水) 18:00~20:15
- ・2月度事業報告の承認
 - ・期末手当の支給について承認。
 - ・特定処遇改善加算に関する件について処理方法及び処分を承認
 - ・令和5年4月からの給与改定について承認
 - ・事業報告・事業計画に案について報告
- 第11回理事会 令和5年4月25日(水) 18:00~19:10
- ・3月事業報告の承認
 - ・総会の準備について報告
 - ・令和4年度事業報告・令和5年度事業計画についての承認
 - ・令和4年度の決算について・役員選考について承認
 - ・超勤手当の追加支給について承認
- 第12回理事会 令和5年5月18日(水) 18:00~18:50
- ・4月度事業報告を承認
 - ・総会の運営と出席状況、および運営について報告、承認

(2) 事務局体制

事務局長：村上次郎

4役会議…理事長・副理事長(2名)・介護部長及び事務局長の5名による毎週の会議を主催し事業の進捗、方針の具体化・徹底の確認、業務改善の提案など法人の運営全般に責任を負っています。

事務局…スタッフ3名 毎月1回の事務局会議で事業所事務業務支援、業務改善の提案などを行っています。

(3) 会員

- ① 正会員 年度当初 104名 新規加入 4名 退会 6名 現会員 102名
- ② 賛助会員 0名

(4) ボランティア

- ① 居場所「ふらっと住良本町」 2名
- ② 街角 Café 2名

- ③ 地域支援 BOX 配布事業（年 4 回） 8 名
- ④ 高齢者の生きがいを支える「外出支援」事業 1 名（有償ボランティア）

（5）連携グループ

- ① 各地域のあんしんすこやかセンター
 - ・ 介護予防支援事業の契約を結び介護予防プランを作成しています。
 - ・ 介護予防・日常生活支援総合事業で情報交換を行っています。
- ② 各行政区を中心とした地域包括ケアシステムの中での取り組み
 - ・ 東灘社協と NPO の連絡協議会に参加し情報交換・交流をしています。
 - ・ 中央区では訪問介護事業所連絡会に運営委員として企画参加し学習会などに参加。
- ③ 認定 N P O 法人認知症予防ネット神戸
 - ・ 認定 N P O 法人認知症予防ネット神戸の運営にも理事に 1 名が参加協力しました。
 - ・ コロナ禍の居場所調査に協力。
- ④ なんでも相談サロン（NPO きょうどうのわ主催の高齢者の居場所運営者の交流サロン）
 - ・ 高齢者の居場所「F ふらっと住良本町」の運営上の情報交換などを行っています。
- ⑤ コミュニティーサポートセンター神戸
 - ・ CS 神戸主催の居場所サミットに参加しました。
- ⑥ 医療法人神戸健康共和会
 - ・ 年 2 回の共和会の社員総会・評議員会や合同管理会議、合同職責者会議に参加し、共和会や共和会グループの運営にもかかわり協力協同を進めてきました。
 - ・ 職員健診の実施。産業医契約も結び職員の健康管理を行っています。
- ⑦ 東神戸医療互助組合
 - ・ 職員 1 名が理事として理事会に参加しています。また、外部理事・監事 3 名が互助組合の理事会に参加しています。
 - ・ 各地域の支部の運営委員会に参加、支部総会にも参加しています。
 - ・ 互助組合の出資金、いつでも元気の購読にも協力しています。
- ⑧ 住良本町ネットワーク
 - ・ 住吉本町地域の団体でつくるネットワークで、神戸老人ホーム、東神戸病院、東神戸医療互助組合、認知症予防ネット神戸と地域福祉会あぁすの 6 団体が参加しています。
 - ・ 居場所「ふらっと住良本町」を神戸市地域支援事業として開始、毎週金曜日に各団体週替わり持ち回りで、あぁす多目的ルームにて開催しています。
 - ・ 11 月をフレイル月間として介護の日にスタンプラリーの他、フレイル予防の取り組みの講演会など開催しています。